

事業実績書

事業名	自殺者防止・減少浸透支援活動	
場所	沼津市	地内
期間	平成 30年4月2日 ~ 平成 31年 3月 31日	
	日程	実施項目・作業項目
事業内容		<p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。 (打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p> <p>【沼津市との連携】</p> <p>4.11 沼津市健康づくり課（栗田）、東部健康福祉センター（高林）と、今後の自殺防止対策について顔合わせ。丹澤事務所にて</p> <p>6.7 健康づくり課（栗田）さんと沼津市の現状について情報交換。丹澤事務所にて。</p> <p>6.15 東部健康福祉センター（高林）さんと、東部管内の状況確認。丹澤事務所にて。</p> <p>7.12 健康づくり課（栗田）さんと、進捗状況等の確認他。沼津保健センターにて。</p> <p>8.6 健康づくり課（栗田）さんと、ゲートキーパーの開催について。丹澤事務所にて</p> <p>8.17 健康づくり課（栗田）さんと、養成研修の詳細検討→研修資料作成。丹澤事務所</p> <p>8.28 沼津市の管理職を対象にゲートキーパー養成研修実施。水道局にて。</p> <p>9.19 東部総合庁舎職員対象にゲートキーパー養成研修実施。東部総合庁舎内会議室</p> <p>1.8 健康づくり課（栗田）さんと、その後の状況確認（策定資料で多忙）資料提出後落ち着いてから。</p> <p>1.18 東部健康福祉センター（高林）さんと、東部管内の状況確認</p> <p>【内部研修】</p> <p>4月から翌年3月まで定期学習会を計画</p> <p>養成研修に参加</p> <p>1. 東部の会員を中心に毎月1回定期学習会を三島生涯学習センター研修室にて開催（4/6, 5/11, 6/1, 7/7, 8/4, 9/1, 10/6, 11/3, 12/1, 1/19, 2/9, 3/16）自殺実態のこれまで（厚労省HP資料、ふじのくにHP資料、静岡県精神保健福祉センター資料、等）及び国や県、当法人のかかわりの確認、自殺防止対策の法令化に伴うプロセスや、ハローワークや教育委員会、企業や地域での事例等の報告。また、メンタルヘルスを踏まえてのかかわり行動を心理学の観点からワークショップ形式で学ぶ。</p> <p>2. 特別研修として、ゲートキーパーに関する学習会に参加しているメンバーから、丹澤が講師を務める養成研修に支援員として参加してもらい、実際の研修の様子（年齢層、地域、性別、職種等）や、学習会で学んだことが、ワークショップ等の支援員として活かせるかの場面づくりも行った。</p> <p>3. 特別研修として 事務局長（浅野）をエーテル学院大学が主催する「自殺危機初期介入スキルワークショップ」に参加してもらう。</p>
	事業効果	<p>※ 事業の効果を記載してください。 ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業計画書において設定した、成果指標と数値目標による評価を記載してください。</p> <p>今まで、静岡県精神保健福祉センターや東部健康福祉センターがリードして、市町の担当者からゲートキーパー養成研修（タイトルは色々）を行うことが主だったが、沼津市をはじめ近隣の市町でも行政が行うことが義務付けられたことで、担当者レベルでも意識が高くなっている。まだ行政主導の事業としては始まったばかりではあるが、一石は投じた思いはある。また、担当との連携も初めてにしてはよくできたと思う。近隣の市町との相乗効果も期待している。</p>

<p>今後の活動予定</p>	<p>今年度の核となる沼津市や行政を中心に行うことが、次年度以降の自殺防止対策の広がりを、具体的にかつ数値的にも意識して行うことが重要。特に自殺の大半である40代から50代の働き盛りの男性をターゲットとして、次年度のステップとして行う予定。早期に行政と企業の隙間を埋めるべき計画や行動を起こし、9月、3月の自殺関連の予防週間や月間に照準を合わせていきたい。また、現存の「メンタルヘルス」とも合わせ、企業の研修負担を減らしつつも、効果を上げる研修内容を研究・開発できればと思っている。</p>
<p>自己評価</p>	<p>行政と一部ではあるが連携できた点は評価できる。しかしながら行政の主管部署の担当者が孤軍奮闘の様子を見て、あまり多くの要求をできなかったことも事実である。少し時間はかかるが、氷を溶かすアイスブレイクの手法を参考にすれば、及第点はあったと思う。カウンセリングの初回面接と同様である。</p>